

## 和牛種雄牛の産肉能力検定（現場後代検定法）

笹沼清孝・藤森祐紀・大川清充・木村安之

Progeny Test of Sire in Japanese Black Cattle

Kiyotaka SASANUMA, Yuuki FUJIMORI, Kiyotaka OHKAWA and Yasuyuki KIMURA

### 要 約

直接検定に合格した県内産候補種雄牛2頭(上仲平茂, 糸平)について, (社)全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定法(現場後代検定法)に基づく肥育試験を実施し, 産肉能力を育種価により評価した。その結果, 上仲平茂, 糸平の2頭とも選抜されなかった。

キーワード：和牛, 種雄牛, 現場後代検定, 上仲平茂, 糸平

### 緒 言

産肉能力検定(直接法)により選抜された県内産候補種雄牛について, 遺伝的に産肉能力の優れた種雄牛を選抜するため, (社)全国和牛登録協会の定める産肉能力検定法(現場後代検定法)に基づき検定した。

### 材料および方法

- 1 検定種雄牛  
直接検定で選抜された県内産候補種雄牛「上仲平茂」, 「糸平」の2頭。
- 2 肥育場数 3場  
茨城県畜産センター肉用牛研究所  
全国農業協同組合連合会茨城県本部傘下農場  
茨城県家畜商業協同組合傘下農場
- 3 調査牛頭数  
上仲平茂：17頭(去勢8頭・雌9頭)  
糸平：17頭(去勢11頭・雌6頭)
- 4 導入, 出荷時期  
概ね8か月齢で導入し, 去勢は生後29か月齢未満, 雌は32か月齢未満で出荷した。
- 5 調査項目  
(社)日本食肉格付協会が実施した牛枝肉格付結果を用いた。
- 6 飼料給与及び飼養管理  
各肥育場の慣行法によった。  
当场においては, 濃厚飼料は市販のものを使

用した。成分は表1のとおりであった。

粗飼料については, 乾草と稲わらを給与した。乾草はチモシーを導入後6か月間不断給与し, それ以降は給与しなかった。稲わらは導入後4か月経過後に給与し始め, 2か月間は濃厚飼料と混合給与し, それ以降は分離給与とした。

1牛房にあらかじめ除角した去勢と雌を混飼し, 敷料にはおがくずを使用し, 適宜交換した。削蹄は年に2回実施した。

表1 飼料の配合割合と成分(重量比, %)

穀類	そうこう類	植物性油かす類	その他	粗蛋白	TDN
49	42	7	2	13以上	73以上

### 結果および考察

- 1 検定終了牛の概要
  - 1) 上仲平茂(かみなかひらしげ)  
平成12年1月3日生  
黒原4003(84.4)  
父：平茂勝  
母の父：亀継2  
遺伝病：全てマイナス  
調査頭数：17頭で1頭除外
  - 2) 糸平(いとひら)  
平成12年4月19日生  
黒原4002(83.4)

父 : 平茂勝  
 母の父 : 糸福  
 遺伝病 : すべてマイナス  
 調査頭数 : 17頭で 1 頭除外

2 枝肉成績

各候補種雄牛の枝肉成績は表 2、表 3 のとおりである。

枝肉重量は上仲平茂428.1kg, 糸平440.2kgと良好であったが、脂肪交雑を示すBMSNo値が上仲平茂4.6, 糸平4.8とやや物足りなかった。

また、育種価評価結果は表 4 のとおりである。

選抜の目安である県基準値と比較して、上仲平茂, 糸平とも枝肉重量は良好であるものの、ロース芯面積や脂肪交雑が物足りないと考えられた。

3 種雄牛の選抜

茨城県肉用牛育種改良推進協議会における検討の結果、上仲平茂, 糸平のいずれも種雄牛として選抜されなかった。

表 2 上仲平茂の現場後代検定結果

検定番号	性	母の父	母の母の父	枝肉重量 kg	ロース芯面積 c m <sup>2</sup>	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	歩留基準値 %	脂肪交雑		格付	瑕疵等
									BMSNo	等級		
1	去勢	美幸福	亀継 2	456.5	45	8.5	2.0	73.4	4	3	A-3	
2	去勢	高栄	東平茂	484.0	54	7.6	2.5	73.2	5	4	A-3	
3	去勢	亀山萩	亀常	408.5	38	7.1	3.1	71.2	2	2	B-2	
4	雌	谷福 6	亀継 2	477.5	58	7.6	1.9	74.3	4	3	A-2	
5	雌	安福57	福桜	463.0	53	8.0	3.0	73.2	7	4	A-4	
6	雌	谷福 6	英美	449.0	48	8.4	0.4	75.3	4	3	A-3	瑕疵工
7	去勢	北国7の8	神高福	460.0	58	8.6	2.3	75.0	7	4	A-4	
8	去勢	糸平茂	菊安土井	408.5	44	7.3	2.0	73.1	5	4	A-4	
9	去勢	北国7の8	安福	438.0	46	9.0	2.5	73.6	4	3	A-3	
10	去勢	紋次郎	初代14	433.0	57	7.3	1.7	74.8	5	4	A-4	
11	雌	美津福	北国7の8	345.0	45	6.1	1.3	73.8	5	4	A-3	
12	雌	福桜	糸晴	409.0	48	7.2	1.6	73.9	4	3	A-3	
13	雌	菊谷	恒徳	371.0	49	7.7	2.3	74.2	7	4	A-4	瑕疵工
14	雌	谷福 6	森正	453.0	55	8.1	2.0	74.5	3	3	A-2	
15	雌	紋次郎	吉春22	402.0	58	7.5	3.6	73.7	4	3	A-3	
16	雌	紋次郎	賢深	391.0	57	7.5	1.5	75.6	4	3	A-3	
17	去勢	糸福	八重福	検定除外								
平均	全体			428.1	50.8	7.7	2.1	73.9	4.6	3.4		
	去勢			441.2	48.9	7.9	2.3	73.5	4.6	3.4		
	雌			417.8	52.3	7.6	2.0	74.3	4.7	3.3		

表3 糸平の現場後代検定結果

検定 番号	性	母の父	母の母の父	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 c m <sup>2</sup>	バラ厚 cm	皮 下 脂肪厚 cm	歩 留 基準値 %	脂肪交雑		格付	瑕疵等
									BMSNo	等級		
1	去勢	第4光吉	谷福6	512.5	47	8.4	3.4	71.7	4	3	B-3	
2	去勢	第4光吉	谷福6	529.5	54	7.6	2.6	72.6	4	3	A-3	
3	去勢	美津福	北国7の8	496.0	53	8.7	2.5	73.7	5	4	A-4	
4	雌	福桜	菊城	452.0	52	7.8	3.2	72.8	5	4	A-3	
5	雌	北国7の8	紋次郎	423.5	39	8.1	2.4	72.5	7	4	A-4	
6	雌	北国7の8	紋次郎	407.0	37	7.7	3.3	71.3	4	3	B-3	
7	去勢	平茂勝	紋次郎	検定除外								
8	去勢	北国7の3	紋次郎	499.5	44	8.1	2.4	72.2	10	5	A-5	
9	去勢	福桜	安平	369.0	45	6.1	1.1	73.7	5	4	A-3	
10	去勢	美福	糸光	309.0	40	5.1	1.4	72.9	5	4	A-3	
11	去勢	谷福6	富士	419.5	44	7.1	2.3	72.6	3	3	A-2	
12	去勢	北国7の9	安福165の9	550.0	60	8.0	1.5	74.3	5	4	A-3	瑕疵イ
13	雌	北国7の8	紋次郎	421.0	40	7.1	3.3	71.1	3	3	B-2	
14	雌	北国7の8	福昌	344.0	47	6.5	2.9	73	6	4	A-4	
15	雌	高栄	糸光	519.0	58	9.1	4.0	73	5	4	A-3	瑕疵ウ
16	去勢	安平	隆桜	479.0	49	7.6	2.7	72.5	4	3	A-3	
17	去勢	金鶴	糸杉4	312.0	33	5.1	1.0	72.3	2	2	B-2	歩留補正
平均	全体			440.2	46.4	7.4	2.5	72.6	4.8	3.6		
	去勢			447.6	46.9	7.2	2.1	72.9	4.7	3.5		
	雌			427.8	45.5	7.7	3.2	72.3	5.0	3.7		

表4 現場後代検定結果の育種価評価（平成18年2月推定）

	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 c m <sup>2</sup>	バラ厚 cm	皮 下 脂肪厚 cm	歩 留 基準値 %	脂肪交雑 BMSNo
県平均	404.907	49.641	7.265	2.624	73.298	1.146
県基準値	+13.398	+4.504	+0.301	-0.163	+0.790	+1.230
上仲平茂	+44.988	+2.704	+0.767	-0.275	+0.581	+0.985
糸平	+56.339	-0.898	+0.369	+0.198	-0.743	+1.023

注：県基準値は県有4種雄牛の育種価の平均値で選抜の目安である。